WOMAN'S HERALD

婦人新報

明治四十[illegible]
毎月一回二十[illegible]日發行

第百三十二號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百三十二號

目次

社說
自然
事務的なれ
大會は近づきぬ
婦人ホームと下婢　菊池幽芳君
子供は母親の鏡(講說)　巖谷小波氏談
衛生
衣服と沐浴
小說
五十三番　大郎生
青年部欄
金澤青年部通信
甲府青年部通信
落花片々　神戸一女
婦人矯風會通信
本部、芝、高崎、大坂、青森、堺、呉、横濱、神戸、前橋、仙臺、函館、羅府

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)
一部(前金)　金六錢
六部(前金)　金三十五錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割增)

◎廣告料
一行(五號活字)　金十錢

明治四十一年四月廿四日印刷
明治四十一年四月廿五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　小崎チヨ
發行所　婦人新報社
東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地
編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 132.　　APRIL 1908.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

The Nature.
Let us be a business like!
The Convention is at hand.
The Woman's Home and maids.
Children are their mother's looking glass.
Hygiene.
Romance "Number 53,,
Y. Branch.

W. C. T. U. NEWS.

Headquarters, Shiba, Takasaki, Ōsaka, Aomori, Sakai, Kure, Yokohama, Kōbe, Maibashi, Sendai, Hakodate, Los-Angels.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 36, Horaicho, Hongo, Tokyo.
70sen per Annum.　Single Copy 6sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十一年四月廿五日）

論説

自然

都は春の錦なるらむと誰も吟む今日此頃の天地紅塵に埋もれ都の大路小路は云も更てある物乞の傾いた軒端にも幾輪の櫻花が浮世の苦をよそにしてほゝ笑んで居ます更に一歩を轉じて郊外に出たらば如何でせう櫻と云はず桃と云はず椿と云はず己がちゝ時を得顔に咲きほこつて居ります其下にはこれも劣らず紫の色の可愛い菫花や黄金の菜の花が造化の妙技を讃めたゝへて其間に碧潭が柔らかいなつかしい春風に撫でられてゆら〳〵と搖いて居りますマー天地は美しい花と可愛い鳥て飾られてどんな心黒い人でもこの光景には一滴の感謝の涙を流されずには居られますまい、赤い色は赤心て緑は希望を表はして居ると云いますが今は宇宙のあらゆるものが赤心と希望を表はして居ります詩人ばかりが此春を玩弄べるのではなくこの樂しい活々した春は私共凡てに詩を作るやうに教へて居りますなつかしい風に吹かれて馨しい香を浴びて床かしい音樂を聞いて私共の心の琴線に震るへずには居られますまいか樣な時ゝ理屈は出て參りません出づる者は恐らくは無限の感謝の涙でありませう神樣の高大なる愛心につゝまれて夢のやうに恍惚してその愛の心を我が心に宿すのはこの瞬間でありませう此の一瞬間之れが私共人間に與へられた尤も大きい惠であらう貴い人も賤い人もこの惠はもれないのであります私共婦人の働はこの春の樣な柔かで暖かで而して人の心に浸み渡る樣な愛からあふれたものでなければなりますまい何者も愛の前には劒を出す事が出來ません花と草と鳥とを顯はし給ふ神の至大の愛はやがて私共の心の中に宿りて床しい匂となり妙なる調となりませう（諸々の天は神の榮光を示し穹蒼は勝手のわざを示す）

事務的なれ

春雨一度降れば堅い蕾もやがて綻びそめ春風の吹きそめては鶯も鎖ざゝれた谷間から出て歌ひます人間も自然の聲を聞いて笑ふべき時に歌ふべき時に起るでありませうか、ことに私共は自分に執る働の上にこの覺悟がありませうか勿論覺悟はありませうが之を實行する丈の勇氣がありませうか之れは疑問であると思ひます露國のピーター第一世は自分が思ひ立た事はすぐ善惡を考へて實行いたされたまたそれをなす時には專心ての事の爲めに自分の勞力を少しも惜しまれなかつたと云ふ事であります、これは私共互に大に學ぶべき事てはあるまいかと思ひます。

大會は近づきぬ

四十年度大會も追々近づいて參りました場所は大坂で期日は多分七月第二火曜日からでありませう會員諸師の御建在を祈ると共に充分發展の報告をもたらせられむ事を望みます。

婦人ホームと下婢

菊池幽芳君

今日我邦の家庭に起りつゝある問題は下婢の拂底といふ事でそれは將來家庭の組織の上にも影響を及ぼすべき大問題で同時にまた一個の研究すべき社會問題である下婢の拂底といふ事については新事業の勃興婦人職業の開拓人權思想の發達等いろ／＼の原因があつて大勢上から見れば已むを得ぬ現象であるが併し此間には何か調和の途がなくてはなるまいと考へる今日は單に下婢の拂底といふばかりでなく雇主と下婢との關係が大分險惡になつて來て居る双方の要求の間に大なる溝が開かれて居るやうに思はるゝわれ／＼は主人側だから絶えず主人側の苦情を聞く併し使ふ方の頭はどうしても舊い時勢に伴つてそれ／＼下女に對する仕向を改たむるといふ事をして居ない、ところが雇はるゝ下女の方では時勢のいろ／＼の衝動を受けて居るので從來の待遇では滿足が出來ぬ、生意氣になつて居る生意氣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にはなつて居るが時代の衝動を受て居るからその中には又時代に適切な要求があるものと見なければならぬ、そこでどうしても双方を調和する機關といふのが必要になつて來る、從來の口入屋ではそれが出來ぬ、殊に都會には田舍から出て來る少女を罠に陷入れやうと待構へて居る惡漢惡桂庵惡旅館等があつてその罠に罹る女がどの位あるかも知れぬその救濟機關も同時に必要であるまたそうなると都會へ出て來る娘も安心して出て來られまたその志望者も殖える事になる、かういふ際に婦人ホームが生れたので營業的でなく精神的に口入屋の仕事をして下婢の温たかな同情者となると共に主家の利益をも謀り同時にまた墮落の淵に沈まんとする女を救ひ得るので、時勢の要求に應じて生れた極めて立派なる精神的事業である、そしてこの事業をなしつゝあるものは實に大坂婦人矯風會である、聞くところによると全國の婦人矯風會中大坂が最も會員が多くまた最も成蹟の見るべきものがあるといふ事てあるのに今度また日本て始めて見るところのこの有益な事業に着手せられたといふ事は、まさに矯風會史上に特筆大書すべき事てあらうと思ふ、それてこの婦人ホームの成蹟はどうかといふとこれがまた非常によい昨年の六月に開始以來取扱つた婦人の數が百五十人餘りで現在下婢として奉公して居るものが五十名ほどである余はホームに行きてその現狀を視察してひどく感じたのであるがこれ等ホームの監督の許にある下婢はホームの友なる會を形作りホームを親元として極めて親密な關係を作り上て居るのてホームにはいろ〳〵美くしい人情の微妙なる事を示して殊勝らしい話がある、毎月ホームの友の會員は五錢づゝの月掛を持つて來る事になつて居るがみなこれを喜こんで持つて來るので一人も橫着をするものがない、また一月と七月とにホームて藪入をさせるがこれがまた彼等の非常なる慰藉となつて居るこの一月の藪入にはホームから出た下婢が一人も欠さず集りて折詰の御馳走がある、福引がある遊戲がある面白い話がある、和氣藹々の中に半日を遊び暮したので今以てその樂しかつた事を語り今に七

月の收入を今から待設けて居るといふ話であるまだホームから世話せしものに今まで一人も主家に迷惑をかけたといふものもホームに後仕末をさせたといふやうなものもない普通の奉公人對口入屋の關係とは非常に違つた關係がホーム對奉公人の間に成立つて居る事は明らかでホームは主家と下婢との間に立つて如何にも善き働らきをなしまた善き例をわれ／＼に示し、双方を調和するところの立派なる機關である事を事實に證據立てつゝあるのである既に今日迄にこれ程の成蹟の上つた以上は今後ます／＼このホームの事業を擴張し一層進んでも少し積極的に働らく事の出來るやうわれ／＼大坂市民は大いにホームの爲に後援を與へたきものである。

（過日大坂にて音樂大音樂會の折に演説せられたる大要）

子供は母親の鏡

嚴谷小波氏談

子に映る母の面影　親と云つても男親と女親とあるが併し子供の時分は男親よりも女親に似ることが多い、去れば子供に映るのは母親の面影である、して見ると御婦人方は油斷のならぬ事となるので殊に鏡は故意と映すのであるけれども、子供は何も似さうとする譯でなく只正直に其の儘映して居るので、親達は氣が付かなくとも他人が見ると判然と分る、子供は親程偉いものは無いと思つて居るから不知不識の裡に親の癖が映る、克く子供が叱られた時に不平を云ふことがある那れは己に親の面影が子供に映つた證據である、去れば神經質の氣の小い子は必ずヒステリー性の母を有つて居り、強い男らしい活潑な子の母は必ず男勝りの人で卑劣な性質の子の母は乾度素性賤しき成り上り者と知ることが出來、其粗忽しい子供の母親は落ち付きの無い人である、此等は即ち何時の間にか母親の癖を映して居るのであるが、其れのみならず子供は屋内にばかり居るもので無い、即ち自分の上に映した面影を外へ出て吹聽して歩るく譯である、故に善い面影ならば宜

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いけれども悪い面影でも吹聴されたら随分母親の恥であらう。

夫の前より子の前を慎め　世間の奥さんの中には夫の居る前では随分身を繕ふて居るけれども夫の居ない時には所謂箍を外すとやら、で、鬼の居ぬ間の洗濯をして居る、併し其傍には屹度子供と云ふ鏡が云つて正直に之れを映して居るから、直に判つて了ふ、故に子供には何も他處々々しく他人らくしする必要は無いけれども又決して不遠慮な振舞が有つてはならぬのである、兎に角子が母親の面影を映すのは何も悪意あつてする譯ではないので、只公平なる無邪氣なる天然の儘の反映である、故に親たるものは一方に子を教育すると同時に又一方には子有るが爲めに却つて子より教育さるゝ理である、そこで御婦人方は懐鏡を出して姿を見らるゝと同樣の考を以て子供に對するやうにすれば間違ひは無い、斯くの如くに考へ來れば子供は決して五月蠅いと云ふやうなものではなく甚だ大切なものとなる、西洋の諺に「親になるは易し親たることは難し」と云ふ意味の事があるが大概の親が親に爲りつぱなしなのは遺憾である、（婦人教育界に於ける講演の大要）

衣服と沐浴（婦人衛生雜誌）

醫學士　河野衛　君述

衣服の濕潤する事

衣服の材料となる織物の纖維は凡て水を吸ふ性質を持つて居るものであります、毛絲は此性に富んで居ります、けれ共織り上げた片布では、其織目の間に液状になつて居る水分を吸收する性を持つて居ります、此性質の最も尠いのは毛織であつて、絹は最も此性に富んで居ります、前にも申しましたやうに衣服が濕ると、通氣が不良となり、體温は傳導に依つて奪はれ水分の蒸發する爲めに、又體温が奪はれます、フランネルは水で濕しても其の氣孔の閉塞せらるゝ事が尠うありますけれ共、木綿や麻になりますと、非常に氣孔が塞がれますから、不利益の點が多うありますそれからフラ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ンチルは濕つても、傳導に依つて體溫の奪はれる事も尠うあります、又毛絲は濕つても、彈力がありますから、皮膚に密着しませぬ爲めに、隨て溫の傳導も尠いのであります、然るに絹や麻は濕りますと、彈力を失ふて、皮膚に密着しますから、溫の傳導は益々盛んになつて來ますけれ共織り方に關係のある事て、縮織にしてあると皮膚に附着する事も尠いから、傳導の度は尠い事になります、それから前にも述べましたやうに、毛絲は一旦取つた水分を蒸發する事が弱うありますから、體溫も急劇に奪はれる事がありませぬ、それ故に雨の多い所では毛織は大に利益があります、

衣服は體に出來る垢を取るものであります、即ち吾々の皮膜からは、汗脂肪、等が排泄せられて、その上表皮細胞が剝げて、茲に垢を生じ、分解して臭氣を發し、皮膚の働きを鈍らすものであります、衣服は此垢を拭ひ取る性を持つて居ります、此點に於て木綿、絹、麻のやうなものは優つて居るけれ共、毛絲は劣つて居ります、

衣服の溫を吸呼する事

衣服の溫を吸收する性質は、體溫の調節の上に甚だ大なる關係を持つて居るものであります、殊に夏の暑い時には、四圍の溫度が高うありますから、體溫の出て行く事が妨げられて居ります、此上に衣服が溫を吸收する時には、體溫が外に出て行くのが益々妨げられます、それて夏期に於て殊に注意しなければなりませぬ、一般に日光に當る時に於て、此溫吸收の度に注意しなければなりませぬ、そうして其溫を吸收する度は、布片の種類に關係する事は尠いけれ共、大關係のあるのは、色であります、その中で白の色は溫を吸收する度が最も尠うありまして、溫吸收力の最も強いのは黒色であります、今白を以て、溫吸收の度を一〇〇とすれば、黄色は一〇二、綠色は一二五紅色は一六八鼠色一九八て黒色は實に二〇八であります、それ故に夏は白色の衣服を用ふるのであります、

衣服の染色の事を序に申し述べますと、衣服の染料に用ふる品は有毒のものでは無論いけませぬ、此染料の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中には、砒素、鉛銅のやうなものを含んで居る事がります、其他に種々な化學品がありますが、斯くの如き有害物で染めたものは、皮膚を刺戟し、時としては、吸收せられて中毒を起す事もありますから、襯衣は無害の品で染めたものを用ひなければなりませぬ、併しながら、其有害であるかどうかといふ事は一見して定める譯には行きませぬから、襯衣は白色なのが宜しうあります、色白であると汚れ目が早く見え、隨て度々新しいのと交へる利益があります、

衣服といふものは以上申し述べました如くに、人の體溫を維持し、寒さに對して、體溫を失はぬやうに、暑さに對してよく體溫を調節し、外傷に當らぬやうに身體を保護し、體の垢を取るものであります、そうして衣服と身體の皮膚との間には空氣があつて衣服の質の中にも空氣を含み、此れが爲めた體溫を保ち、且つ衣服には通氣といふ事があつて、衣服と皮膚との間の不潔空氣は、衣服を通して、外に出て、外からは冷い空氣が入り換つて來るのであります、それから吾々の身體からは、水蒸氣が出て、汗や皮脂が皮膚に出て來る、其他炭酸も出る、表皮の剝けたものも出來て來る、凡て斯ういふ垢を衣服が自己の方に取ります、それから衣服には外から付く塵埃や黴菌も居ります、肺結核の病人其他傳染病者の着て居る衣服には、病原菌が附着して居ります、その外衣服は濕潤するものであります、斯ういふやうな具合で衣服は段々と不潔になつて來まして、細菌が繁殖し、分解して臭氣を發するやうになつて、來ます、それ故に衣服殊に身體に直接に着けるものは、殊に屢々洗濯しなければなりませぬ、垢の附いたものを着て居ると寒く感ずるものであります、それ故に衣服は絕えず洗濯に注意しなければなりませぬ、

日本の衣服は、運動、勞働に適しないのは事實であります、今日では日本服を改良しようと言ふ人もあり、中には既に改良を行つて之を實行して居る人もあります、西洋の服は萬事に都合のヨイ樣に出來て居りまして、甚だ實用向きであるのも事實であろうと思ひます、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

併しながら、一利一害のある、事で殊に衣服は住居、生活の狀況、社會上の有樣と離るべからざる關係を以て居るものでありまして、日本の衣服にも、日本の社會の狀況に應ずるやうな美點もある事でありますから、將來日本服を改良せんとする人々はヨク日本社會の狀況を考へ、日本服の特徴を失はぬやうに、他國の長所丈けを取るといふ考へて、眞面目なる改良を計らなければなりませぬ、

皆樣の御承知の通り、西洋の婦人は、コルセットを嵌めて、頻りと上腹部を小さくして居ります、それから支那の婦人は人爲的に、足を細くし、歩行の出來ないやうになつて居るのを上品だとして居ります、是等は實に非衛生的の甚しいものである事は言ふに及ばぬ所であります、幸にして我國では古から人爲的に身體に向つて、斯くの如き事を行ふものが無くて、全く天然の美を保つて居るのは誠に喜ぶべき現象であります、但し日本服でも、帶を堅くしめるといふ事は極めて惡い事であります、凡て衣服はゆつたりとして居なければなりませぬ、小供の衣服で袖口の細いのをヨク見受けますが、之は改良してゆつたりした袖口のものにしなければなりませぬ、それから日本の上流の人は兎角小供に厚衣をさせる風習がありますが、是れは皮膚を弱くし感冒に罹り易くなり、延ひて病に對する身體の抵抗力を弱めますから注意しなければなりませぬ、

それから襟卷は或種の病氣の時の外は決して用ひてはなりませぬ、一體襟の所は體と衣服との間から溫まつた空氣が上つて來て、それて體められて居りますから別に襟卷をして溫める必用は無いのであります、且つ四時襟卷をして居ると、抵抗力が弱くなりますから、容易に咽喉、喉頭の病を起しますその上襟卷といふものは、誠に不體裁なものでありまして、コタツに入つて居るのと同じやうに、人をして柔弱ならしむるものであります、殊に年の若い强壯な人が、寒むくも無い日、に襟卷をして居るものが今日は甚だ尠くありませぬが、是れは吾々の感服しない事であります、世間では之れを以て一種の裝飾の積りでやつて居るものも多

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いやうであります、是れは態々人爲的に皮膚の抵抗を弱めるのと同じ事でありまして、何の役にも立ちませぬ、役に立たぬ所では無い、有害であります、

吾々は八時間睡眠するとすれば、一日の三分の一は睡眠に費す譯であります、それ故に夜具に就いては、充分に衞生的關係に注意しなければなりませぬ、夜具は充分に溫かなものでなくてはなりませぬ、睡つて居る間は新陳代謝の作用が少くなりまして、其の爲めに溫の發生が尠くなつて來ますから、殊に溫くして置かなくてはなりませぬ、それから衣服と同じやうに、常に淸潔にする事を怠つてはなりませぬ、是れには敷布を用ひて、之れを屢々洗濯するのが便利であります、布團の襟は、口がヂキに當る所でありますから、一層淸潔にして置く必要があります、夜具は度々日光に曝すといふ事は極めて大切な事であります、それから布團は無暗に厚くすると、中の綿が強く壓迫せられた有樣になりまして、空氣を含む事が尠くなりますから、保溫の目的に適ひませぬから、薄いのを重ねる方が利益であります、

以上極く大略衣服の事を御話し申しましたが、流行と風習との爲めに、甚だ衞生的で無いものが多うあります、併し衣服といふものは、衞生上甚だ重要なものでありますから、此點に注意し、非衞生的な流行に從はぬやうに、敎育のある者は注意しなければなりませぬ、それから衣服は人の品格を保つ上にも甚だ重要なものでありまして、衣服の狀況を見ると、人格の或部分は大抵判斷の出來るものであります、私は誰でも質素な衣服を着けて、絹布纏ふべからず抔といふやうな議論には賛成しませぬけれ共、滔々たる天下の士女が殊に中流以上の女子が流行を追ふて、——衣服を以て單に裝飾品と心得て——贅澤を盡すといふ事には賛成が出來ませぬ、斯ういふ風習は人を輕薄にし易いものでありますから、世に女子敎育に從事する人は、斯かる輕薄な風潮に從はぬやうに、敎育しなければなりませぬ、是れは話しが枝道に入りましたが、要するに衣服といふものは、上に述べましたやうに、衞生上極め、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で大切なものであるといふ事の御承知を願ひたいのであります、是れから、

沐　浴

の事を少しく御話し申して置きましよう、我國は昔から沐浴の盛に行はれて居る國であります、是れは身體を清潔にし、隨て健康を維持し、體に休養を與ふる唯一の良法であります、我國人の身體が外國人に比して清潔なのは事實であります、皮膚は體溫を調節し、新陳代謝の機能を營むものであります、所が皮膚が不潔であれば、此等の作用が完全に行はれませぬから、種々な病の源にもなります、前にも申しましたやうに、衣服は身體の垢を取るものでありますけれ共、是れのみでは不充分でありますから、沐浴の必用があるのであります、

沐浴は、第一に身體の垢を取り、血液の循環を佳良にし、從て新陳代謝機能を催進しますから、勞れを慰し、身體が爽快になつて來ます、沐浴をしますと內臟の方の血液が少くなつて、主に皮膚の方へ血液が集まつて來まして、溫かく感じます、それ故に沐浴の後は體溫を奪はれ易うありますから湯に入つた後は往々感冒に罹る事があります、それ故に湯に入つた後は、身體の溫を保つのが大切であります、湯に入つて風を引くといふのは、主に浴後の不注意から來るのであります、殊に小兒は、體溫を奪はれる事が大人よりも甚しうありますから、湯に入れる時には非常に注意しなければなりませぬ、浴場は殊に溫く保ち、風の入らぬやうに造つて置くのが肝要であります、

西洋人は低い溫度の湯に入りますが、日本の浴湯は、溫度が高くて四十五度內外のものであります、あまり熱い湯は無論害があります、熱い湯に入るのがエライ抔と言つて、無暗に熱い湯へ我慢して入るといふやうな事は極めて惡い事であります、

冷水浴と謂つて冷い水を身體にそそぎ掛け、或は浴槽に冷水を入れて此中に入る法があります、是れは皮膚の抵抗力を增す法でありまして。誠に良い方法であります、冷水浴に慣れて居ると皮膚が强壯になりますか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら、容易に感冒に罹らぬやうになります、又此れが爲めに身體の血行が良くなりますから强壯になります、冷水浴の外には、冷水を手拭に付けて搾つて、是れて身體を拭ふ方法があります、是れも皮膚の抵抗力を强める効のあるものであります、

我國は昔から沐浴の美風のある國であります、此れは吾々の健康を維持し、之を增進する上に甚だ大切のものでありますから、此美風は失はないやうに勉めなければなりませぬ、

小說五十三番

太郎生

民法のノオトに朱を入れ終つて、大きな欠伸を一つ、フイと立ち上る。六疊の座敷をグルぐ廻りする。壁にかけた子供の繪が眼につく、國の我が兒を想ひ出す、自分の少年時代を追懷する、いろくな感じが頭の中て走馬燈のやうにかけめぐる、何といふ事なしにうろ覺えの讚美歌を口吟む。モー日は暮れ際だ、一つひねれば明るくなる電燈も面倒くさい、薄暗がりで歌ふ。いつでも歌ふのは五十三番ときまつて居る。節奏がおもしろいからでもない、文句が氣に入つたからでもない、たゞ歌ふのだ、歌つて居る中に乾度同じ聯想が湧いて來る、其の聯想がおもしろさに歌ふ。

めぐみの光は、　我が行きなやむ
やみじをてらせり、　神は愛なり。
我れ等も愛せん　愛の御神を。

一枝さんといふ可愛い娘があつた、自分の幼馴染である、戀中ではない、其の一枝さんに二三年前にめぐり合つた、其時一緒に歌つたのがこの五十三番である、歌は極めて幼稚だ、調子からいつても、詞からいつても。併し其の子供らしい歌を、二人共、子供に歸つて、大空に聲ひゞかせて歌ふのは面白い。一枝さんは自分を幼名の竹ちやんと呼ぶ、竹ちやんと呼ばれるのはうれしい。河原さん、河原君、何れも有り難くない。竹ちやん、竹坊、自分は幼名を呼んで呉れる人のないのを悲しく思ふ。竹ちやんが河原君に代り、竹坊が竹之

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

助となつて行く毎に、自分は一歩づゝ冥士へ引ッ張られつゝあるのだ。世の中は面白い、此面白い世の中を、去つて往くのはいやである。月ぁ照れば花も咲く、塵の世だとか、憂き世だとかいふ、勿論、塵もある、憂患もある。無盾の一面だ、仕方がない、比べて見たら面白い方がおほからう。電氣燈も、花瓦斯も、イルミチーションもある明るい此の世を棄てゝ、可愛い妻子や、なつかしい父母兄弟をのこして、眞暗な、牛頭馬頭の責めさいなむ彼の世が、何で望ましからう。ともかくも、二人で大聲を揚げて歌つた、丹後澤の茂みは萬古の碧水に蔭を翳して、汀の捨小舟に蛙が二三疋、二人が歌は水をわたり、舟をこえ、茂みにかくれ、蒼空に上る、一枝さんの眼はほそくなつた、其の額には光がある、蒼白い雙の頰に、ホッと紅が潮して居る。自分は此の時の一枝さんを美しいと思ふた、自分の顏はどうだか知らぬ。

浮雲おほへど、　みかほのゑみは、
さやかに照り出づ、　神は猶あり。
我れ等を愛せん、　愛の御神を。

一枝さんはあはれな女である。阿父さんは發狂し、獸のやうに鐵の鎖で繋がれて居る、阿母さんは側には居ない、(細かな事情は仔細あつて明言する事が出來ぬ)祖父さんも、祖母さんも、ミゼラブルな境遇にある。一枝さんは、其の中から女子師範の生徒となつて居るが、感じの深い人だけに、人一倍、自己の境遇のみぢめなのに頭をいためて、遂に自分のからだを惡るくした、いつでも蒼白顏をして居る、聲に張がない、談話をすれば直ぐ下を向く、自分の要求を思ひ切つて言ひ出せない、こんな風な處が、自分から見れば一層同情を引くので、多少、他人の疑を受けながら、毎日のやうに、城山の小屋を見舞ふのである、いつの間にか一枝さんの讃美歌が、自分にも傳染て、二人の談話が途切れると、定つたやうに此歌を唄ふ、自分は無暗に神だとか、信仰だとかを口にするのは嫌ひである、解りもせぬ事を解つたやうに喋舌るのは輕薄才子のする事である。とは思つて居るが、一枝さんの前で理屈は禁

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物、此のあはれな弱い女に、神を信ずる事の出來るのは、せめてもの救極である。自分は(よくわからぬが)神樣に感謝する。一枝さんが、神樣の事を語る時には、平生の內氣に似ず、快談縱橫である。ヨブの噺は何遍聞かされたか知れぬ、自分は、雅歌とアモスが好きだといふと、一枝さんは默つて赤い顏をする。阿父さんは怒鳴つて居る、鐵の鎖が、ガチャ〳〵、祖父さんは時々咳拂をしながら繩を綯つて居られる、自分は西日のあか〳〵とさして來る頃に、ステッキを振つて山を下るのを常とした。

　うれひの時にも、　　のぞみを與へ、
なぐさめ玉へり、　　神は愛なり、
　我れ等も愛せん、　　愛のみかみを、

丹後澤のコーラスは、唯一度であつた、歌つて了つてから、大きな梨子を半分づゝ嚙つて蟬の聲をきゝながら昔の事を語り合つた、一枝さんはモー五六日經つと學校へかへらねばならぬといふ、自分も近いうちに東京へ行く、圖らずも邂逅うた二人の幼な馴染は、再び南北に別れねばならぬ、夢の中で遇ひ、夢の中で別れると思へば何でもないが、五十三番の歌は、忘れられぬといへば、私もよといふ。一枝さんは梨子の皮をむきつゝある、クル〳〵とナイフに準つて、美しき渦を卷いて垂れる、渦卷く皮の地につく時に、一枝さんの手はピタリと止まつた、ポタ〳〵と淚が落ちる。露草が薄紫に咲いて居る、眠つて居た螢が、おどろいてブイと飛ぶ。ガチャ〳〵と蟬が啼き出した。

　世はうつり行けど、　　惠の光、
永劫にぞ輝く、　　かみは愛なり、
　我れ等も愛せん、　　愛のみかみを。

あゝ其時が此の世の別れであつた。弱い一枝さんは肋膜に病つた、福島の氣候は癆瘵質の人に佳くない、一年餘り、わづらつて、トウ〳〵神の御許に召された、阿父さんも死んだときいた、御祖父さんは、やッぱり繩を綯つて居られるだろー。

「世は移り行けど、惠みの光」、薄暗い下宿屋の六疊で、獨り、此の歌を歌ふ自分は、經驗論者たるに關せず、

永遠無窮の神の大愛が、此のあはれなる乙女の上に、光被せんことを希望せざるを得ない。（終）

青年部欄

甲府青年部

三月二十日に左の如く委員の改撰をなす

會長　ロバルトソン
副會長　平岩しづ
書記　根津さだ
通信書記　岩下けさの
會計　北原たつ
花の課長　田中やそじ
同　委員　秋山みまじ

金澤青年部

二月五日定時米田姉の司會にて今年第一回の矯風會例會を開く祈り讃美聖書朗讀の後書記の報告花の課の報告ありたり次司會者は「我等は地の鹽たる義務をつくすべし」との感話島倉ふさ子姉の德富氏の演説をいと短かく而かも要領をとりて熱心に話されたり「要は婦人の生命は愛の心なり」これを第一位にするは親切なる心と愛とにして尤も急務なるを敎へ給へり四名の熱心なる祈りありて讃美をうたひ望みにあふれて散會す集會者僅かに三十三名にしてギブンス姉の奏樂なりき。

三月四日市村よつ子姉の司會にて例の如く開會書記會計の一年間の報告後司會者の感話續いて島倉姉のかんたんなる御話三名の熱心なる祈りあり終に神をさんびして一同主の祈りをなして閉會す集會者四十九名樂奏者ギブンス姉なり。

明治四十年四月より四十一年度の三月までの報告

例會八度　臨時會四度
外に小集會數度
入會者九名

湯淺鈴鹿　佐々木久尾

神谷幸子　　素谷幸子
北村錦子　　河瀬たみ
上原かね　　青木きよ
能のぶ子

平均例會一回の集會數四拾六七名なりき

落花片々

神戸女

○皆樣も御承知の通り今も田舍には野蠻の風習が殘つて居りまして、隨分目に餘る樣な事が澤山にありますが、中にも葬式の時に酒に醉うたり、無駄な馳走をしたり、喪に居る人に同情するどころか、却て好き機にして飲み食ひする風があります、是はお互に風俗改良を計る者には甚だ心苦しい事に思うて居ります、所で今茲に御記し申て皆樣の御參考に供へたいと思ふ事は或村の摸範的規約てありをす、其は作州久米郡の或村の事てありますが、何處も同じ惡風俗で葬式のある家に、近隣の者が集ります、先づ一番に酒が出る、飲む謳ふ……まさか謳ひは致しませぬが、念佛も、經文も、謳の節に怒鳴りだす、といふ風て、此村は一村皆一つの宗旨の講が出來て居て其講仲間が葬儀萬端の世話をするのですから墓穴を掘るのも別の階級の者が爲るのはてなく、お互の講連中がするのです、若し酒にても醉うものなら穴を堀りさして喧嘩を始める、打擲する、イヤ、ハヤ御話にならぬのです、乃て同村の村長が甚だ進歩的の人てあつたので早速に風俗改良を思ひたち村内の重立つたる者と相談をして、この惡風を根帶より改革しました、其方法は、先づ或家に死者がある、例の講連中が集る、決して酒を用ゐませぬ、葬式が無事に濟むまて一同謹愼して、十分當家に同情を表しかつ死者に禮を失しない樣にするのです、かくて一日を過ぎ、喪家より慰勞として右の講中を招待するといふ事になりました、當分は何分これまて自由に、面白く酒を呑んて居たものが、急に愼まねばならぬので、大分不平も起りましたが、何しろ一家の不幸中に自分の快飲を貪る事はよろしくないとの道理が動かないも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のですからと、自分の身の上に來た時成程と得心する人が追々に增加たので、今では非常に好成績を呈して居ります、尙今一つ面白い事は右の講連中より委員數名を撰みその中で二名は會計に當るのです、これは何處でも有りがちのとかく自己の財產を鼻にかけて驕りたかぶる風があり、又中には吝嗇で、出すものも出さぬといふ傾向があり、或は村內で同情の薄き人へは世話の屆かぬ事がありますので、其等も公平を旨とし、驕を禁ずるといふ主旨から、此委員を設けられたのであります、扨て委員は其家々の資力に應じて葬具を整へ、次の日の慰勞の時にも、委員の指圖によりて料理する故、大根の煮物でも、鮪の刺身でも、双方に異存はいらぬのであります。

これは田舍村の話で而も數年以前よりの事ですから都會の人には何の興味も起りますまいが、私が此話を皆樣に申上げたい動機は外ではありません都會も、都會も、都の眞中で尙葬式に列して惡感を抱く事があるのです、勿論今節都會の紳士方が、酒のみたさに御集りなさるでない事は事實ですが、私は會葬者諸氏の心事と態度に慊焉たるものがあります、矯風會が禁酒禁煙をいふのはいふも愚の事でありますが、願くは今日世態人情の浮薄に流れて居る事を今一層切實に心配致してこれ計りは昔の淳朴なる風を殘したいものだと思ふのであります。

○今一つ實見した事を御話し致しませう私が或時大坂神戶間の電車に乘りました、處が乘客の一人(紳士躰の人)がシガーを喫しましたのを車掌が止めましたので、爭論が起りました、車掌は年若き靑年、彼の乘客は年配も身のまわりも相應に世の尊敬を受くべく見ゆる人でしたから、他の同乘者は片唾を呑んで見て居ました、車掌は二度までシガーを揉み消しましたから、彼紳士怒るまい事か、突然立ち上つて大演說を始めました、長々と演じましたが要するに電鐵會社は個人の營利事業である、乘客は切符を買うて乘つてやるのである、故にお客樣である、それを店主が客の自由を妨害して喫煙を禁ずるのは無理である、不都合であると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いふのでした、そして再びシガーを取り出しました、
私は車中を見廻はすに隨分種々の種類の人が乘つて居りますから、彌次馬連も雷同して、迷惑するのではないかと心配して居ました處、案の外誰一人賛成を表するものもなく、皆苦笑して見て居りました、彼紳士は大威張て煙を吐いて居ります車掌は怒つたり、頼んだり、樣々に申ても、止めませぬ、見兼て二三人の人が喫煙者を說き出しましたので、又々爭ひが起り婦人達は恐れて途中の停留場で下りたり、隅の方に小くなつて居ました人もありました、遂に爭は或勞働者風の人によつて仲裁せられ事なくすみました、彼紳士も仕方なくシガーを捨てたのです、ブツ〳〵云ひながら次の停留所で下りて行きました、
私は此時思はずも、聖句の「天地の主なる父よ此事を智者達者に隱して、赤子に顯したまふを謝す、父よ然りそれ此の如きは聖旨に適へるなり」を繰り返へさずには居られませんでした、見た處物識りらしい敎育のあるらしい人が法律語澤山に長演說を致したなら一寸誰でも道理らしく思ひませう、然るに無敎育な人らしい勞働者の中に眞の光は多く照り來つてるです、世上の萬事とかく知つたふりの人が罪を多く犯して居ります、電車に乘つても、婦人に席を讓る第一の人は粗衣裳の人でなく筒袖の仕事着の人でありませう、そして社會の中堅を造つて居るものはこの質朴なる勞働者でなく、虛僞の固りなる中等社會の人であります、歟かはしいではありませんか、

矯風會通信

○本部

△四月十三日午後三時より會頭宅に於て常置員會開催出席者は
　矢島會頭、小崎、非深、根本、粟屋、富永、横倉の諸姉
可決せし件左の如し
一四十年度大會を大阪に於て開催する事
　會場接待期日に關し右支部に交涉する事

一萬國本部代表者歡迎に關する件

一五月下旬大演說會開催の件

一本部財政に關し擴く維持會員を募集する事當日會合の委員は直ちに維持會員たる事を諾す但し維持會員の每月の會費は一口金十錢とす

一婦人新報會計は印刷代の騰貴幷に二種郵便物となりたる爲め大に財政の困難を生じたるを以て全國支部長に交涉し會員一名に對し必ず一部づゝ講讀せられん事を願ふの件

右終り會頭の厚意になれる夕餐を喫し散會せしは午後七時なりき。

○芝支部

△個人消息　石川こと子姉女子分娩綾子と命名せらせし由

高桑わか子姉は病床にあらるゝも本會の事は絕えず忘れ給はず蔭に大に盡力せられつゝあり御全快の速かならむことを祈る

南波常子姉當時は身躰の都合により例會には出席なきも會の便利を計り何かと盡力せらる加藤きく子姉例會には欠席勝なるも前の二姉と等しく常に御盡力せらる

○高崎支部

三月十五日午後二時より例會を開き牧師岡部夫人の話（理想の婦人と云ふ事に付婦人は惡に於ても善に於ても力のつよきと云々）有益なる御話しあり後ち規則草案を造る事會員をつのる事等の相談ありたり後ち茶菓をきつし同四時散會す

○大阪支部

△數十日前より會員凡てが熱心神に祈り求めし音樂會は三月廿七、廿八兩夜中之島公會堂に於て開かれぬ豫告の通り今回催の主意は婦人ホームのためとてそれかあらぬか社會の同情を多大に得たり天候といひ演奏者の厚意會員の盡力凡てに於て一致結了せし事は大に神の惠みと感謝に堪えざる所なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

概況正六時半開會馬場夫人の司會にてウヰルミナ女學生青山、阪野兩嬢のヒヤノ奏樂次に會長林歌子の開會の挨拶ありて中尾都山氏の尺八野中中社令嬢方の今様舞法師の三曲次に今回招聘せし東京音樂學校教師藤井環夫人の獨吟ありて山下市長祝詞を馬場夫人代讀す神戸なるボンテー、コルレル、スイバシアー諸氏の洋樂獨吟等何れも優秀にて實に模範的音樂會なりと云はれぬ終に藝人有名なる大隅太夫淨瑠理是亦大に好評ありき聽衆千名許にして十時散會せり

次の夜は前夜に倍し大和舞に代るゝ神戸よりゴタード孃の舞踏水仙の曲、佛國十四世の頃古代貴族の舞踏其儘の姿にて演ぜられしはさも貴族の樂として上品にして尤も興あり又大阪毎日新聞社の菊池幽芳氏がホームの社會事業として目今尤も必用なる働なれば充分の同情を以て懇切に演説せられたれば大に聽衆の注意を求めたり聽衆殆んど二千人にして十時半無事閉會す

精算報告書は近々通知すれども殆んど總收入一千三百圓と假定せらる

入會員　大黒やゑ　青山すゑ　前山まさ　上田操　〆四人

○青森支部

△三月十一日午後一時半より浦町聖公會裁縫教室に於て例會を開く佐々木會長の司會にて讃美聖書朗讀祈禱の後須藤牧師のモーセがエイスラヘル人を救ひ出せし如く會員は各自世の矯風に勤められよと熱心なる勸話あり終りて會長の好意になれる茶菓の饗應を受け散會せしは三時頃なりし此日會員の參集は六七名にすぎざりしも裁縫學校の生徒諸姉も列席せられし故賑なる集なりき

四月八日午後二時より大工町教會にて例會を開く佐々木會長司會せられ讃美聖書朗讀祈禱の順序にて早川牧師は會員に克己心の必要を説かれたり主の祈りを以て一先づ閉會せし後陸奥丸遭難者の爲に義捐金を募集する事を決議し四時前散會せり來會者九名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○堺支部

△臨時會　近頃日曜學校事業の爲め態々來朝せられし米人ハミル博士並に同夫人上京の途當地にも來援せられんことを請ひて其快諾を得たるを以て四月一日午後三時半よりテモア教會に於て臨時講演會を開催す會長德澤夫人司會讃美、聖書朗讀、祈禱、開會の辭と共に博士夫妻を會衆に紹介せらる博士、夫人共に日曜學校生徒教授法に付て種々有益なる講演ありしが要は矯風會事業として兒童教育に尤も力を入れ未然に彼等の惡風を防ぎ禁酒禁煙の精神の皷吹することなどは日曜學校に於いてすることと割合に容易にして且功果大に擧る事等自國の例に徵して熱切に述べらる一同大に益する所あり讃美祈禱以て閉會此日雨天なりしは殘念なりしも又よろこぶべきことは集會者六十名計の内日曜學校教師小學校敎師幼稚園保姆等多くありしことなり

○吳支部

△三月廿日聖公會宣教師ミスウヲーシングトン師宅に於て當地に於ける各教會の有志婦人の祈禱會を開く十時菊子姉會を司り當地に於て是非婦人矯風會の必要なる理由及萬國婦人矯風會の爲め祈を以て助け呉れ度き旨熱心に説かれたり引つゞき同情なる姉妹方の熱心なる祈禱は間斷なく捧げられしが終りて神の奇しき御導きにより當日直に吳婦人矯風會なる者を組織の評議一決し善事に急げの古語に從ひ直に役員の撰定をなせり

會頭　十時　菊子　　委員　松下　花子
書記　吉村　里子　　　　　中山　松子
會計　宇野みつ子

會員は十二名　集會は春秋合せて六度
目的は當分祈禱及傳道

○橫濱支部

△三月九日午後二時より指路教會に於て例會を開く二宮會頭の聖書、朗讀祈禱の後會計書記の報告あり其より直に從來の例會を廢して幹事會奬勵會の二種とし

各一月代りに行ふ事。花の課と傳道課とを合併して共益課となす事。更に教育課を設くる事（委員は二宮、雪野、安藤）

△本月廿八日午後七時より美以教會に於て母之會と聯合の演說會を開く事辯士は江原氏、橫倉姉其他當日の準備等並に共益課にては來る第三月曜日に十全病院に入院中の石井令孃を見舞事及び救護所へ慰問する事。來月は幹事會を開く事等につき協議し四時散會す

△三月廿八日午後七時より美以教會に於て母の會と聯合の演說會を開く二宮會長司會のはづなりしも俄の事故の爲め缺席せられしにより雪野姉代りて司會せらる辯士橫倉姉の（婦人と矯風事業）江原氏の（家庭に於ける婦人の使用法）等に付き何れも卑近なる實例を擧げて最も懇切に熱心に一同を獎勵せられたり當日は朝來曇りがちにて夕方より小雨ふり出したるにもかゝわらず百有餘名の聽衆ありてすこぶる盛會なりき

△四月十三日定刻より例會を開く出席者十數名にして二宮會長の聖書朗讀祈禱の後先月の各課の働きにつき又三月廿八日母の會と聯合の演說會に付報告あり又本部よりの報知によれば此度萬國矯風會よりスマート女史の代りに一人の姉妹を送られ來り上旬來着せらるゝとの事右歡迎につき種々協議す

來月の例會は親睦會とし可成多の會員を集むるべし各幹事分擔して會員を訪問する事に定む會場は大橋姉宅とし辯士は雪野姉に交涉を依賴す其他種々なる協議をなし一同主の祈を以て閉會す

三月第三月曜日傳道課と花の課と合併して當地南太田なる救護所を訪問す同所は老ひて賴る方なき哀なる人々を收容しあり僅にても土產物を持ちて此等の姉妹を慰め又天父の慈愛を語り聞かせ訪ひし者も訪はれしものも共に神の恩をうけて歸途に就く

又同日十全病院に入院中なる石井令孃、野村姉の令息の病氣見舞に花を持ち行き少しにても病める人に慰を與へしは嬉しかりき。

○神戶支部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△三月廿一日午後二時より多聞教會に於て定期總會を開く出席者三十四名矯風會員貳拾七名岩本久江姉の司會にて讃美祈禱の後今岡兵庫教會牧師の矯風に關する演說あり終て會計及書記の報告役員改撰あり、會計報告收支左の如し、

一金參百〇六圓七拾八錢五厘　收入總高
一金貳百拾六圓六拾八錢五厘　支出總高
差引
一金九拾圓〇拾錢　總殘高

書記報告概略

一會員數
一百五拾貳名　會員總數
一百參拾四名　市內現住會員數
一百五拾九名　昨年度會員數
內譯
一拾參名　新入會員數
一七名　轉入會員數
一貳名　轉出會員數
一八名　退會者
一拾七名　刪除
差引七名減少
但し居所不明及義務金を怠れる會員を名簿整理のため刪除す

二集會
一集會總數　貳拾一回
內總會一回　演說會一回
幻燈會一回　例會二回
送別會三回　感謝會一回
母之會二回　祝賀會一回
歡迎會一回　委員會八回

三特別なる働
一バザーを開催せし事
一ブース大將を迎へ花束を呈せし事
一中宮小學校へ運動道具廻りブランコを寄附せし事
一矯風幻燈會を開きし事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

役員改撰の結果は左の如し

會長　吉岡初音姉
副會長　三瀬千鶴江姉
會計(再撰)　岩本久江姉

但し吉岡姉は次席せられしを以て諾否は未完

神戸訓盲院事務員同院の事業に就きて語られ尚今回英京倫敦に催さるゝ同事業研究大會を利用し日本撰出委員バザー開催の企圖ある由にて之が出品を寄附せられむ事を矯風會に依頼さる、こは來る廿五日の委員會にて相談する事と決す、

右終りて親睦會に遷る、席上盲兒讀書談話す、興を盡し相語り相親みて惜しき袂を分ちしは五時なりき

△三月廿五日午後貳時より神戸教會不窮館に於て委員會を開く、出席者拾参名川本姉の祈禱をもて開會協議せし件は

一會長に當撰の吉岡姉より事情のため受け得られぬ山の回答あり爲めに已を得ず會長候補者として數名を推薦し來る四月十八日開催の毋之會に合併臨時總會を開き會長再撰者を執行する事、
一各教會より委員を貳拾名撰出す、
一各課の課長及委員を變更す、
一先日訓盲院より委托のバザー出品として人形百個を買入れ各會員之が衣服を調製寄附する事に決す

右終りて丸井姉の祈禱を以て閉會解散す

○前橋支部

△去る四月一日二日に開會せし赤十字愛國婦人會支部大會に閑院の宮殿下同妃殿下當市に成らせられなば各地方よりも會員上橋の事とて其準備の爲に何やかと當會員の大半は、いそがしき日を過ごせし事とて今月は例會に就き其用意充分ならざるより四月四日午後二時より教會にて例會に代へて祈禱會を開く事としぬ、折りあしく降りしきる春雨に先日來のつかれの爲集まりし諸姉は少數なりしも諸會頭の「主婦の心得」と云ふ様な意味の興味ある所感に續いて熱心に眞實に本會の主意を報じて各自眞面目に働き得るようとの意を持つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諸姉の祈禱ありて温かき會を散ぜしは三時半頃なりき

○仙臺支部

△三月十六日午后二時より仙臺市名掛町クリスチヤン敎會に於て例會を開く雪解にて路甚だ惡しされど集りたる人員十五名なりき副會長内田姉の司會の下に讃美聖書朗讀祈禱の後仙臺育兒院々長動物優待の事に付て語らる姉は曾て米國セント、ルイスに開かれたる大博覧會に臨まれしが其處にジムと名づくる馬ありて己の名を綴りまた三十迄の數字を知りて加減乘除を自由になすを見たり或る動物優待奬勵に熱心なる富豪二十二萬圓にて此馬を求めんとせし時是を己の子の如く養育せしケイと名くる獸醫馬丁となりても此馬とはなるゝ事を好まざりしにより富豪は遂に馬丁として雇ふととなせり

而して諸國に此馬を伴ひゆき多くの子供等を集めて其なすところを見物せしめ以て動物優待の約束をなさしめつゝあり彼の國にありては若し過ぎたる荷を負はせて虐待するものあれば巡査は相當の罰金を取りまた獄に入るゝことを得るの權あり是はたゞ馬のみならずすべて動物を虐待するものはかゝる刑罰を受くるものなり

記者は屢々我國に於て負難き荷を引かせて牛馬を虐待するを見て同情とあはれみの念に堪へざる事ありき我國に於ても一日も早くかゝる制度の設けられん事を希望して止まざるものなり平林傳道部長の祈禱の後茶話會に移り互に談笑して樂しく時を費せしが其中記載すべきは近々の内に我會の一部の働として女子青年會を開かんとする事に付て過半の時を費せり散會したるは四時半なりき

○函館支部

△一月廿日午後二時より組合敎會に於て例會をひらく集る者わづかに六名會頭司會の下に一同熱心なる祈を以て始じむ會頭の聖書朗讀之後北守書記欠席之爲會頭代りて報告せらる難波會計の報告ありて役員の改撰に

移る當撰者左の如し

會頭　三谷小梅
副會頭　岩谷よしの
書記　難波時
會計　大島榮
仝　北原やす

一同前途の發展に付いて種々談じ散會せしは午後四時過ぐる頃なりき

△三月十六日午後二時組合教會に於て例會をひらく三谷會長司會の下に難波姉の祈をもて開會岩谷三谷兩姉を生じめとし各自思ひ〳〵の感話をなし互に益せし處ありたり本會は昨年大火後會員の減退を來し如何なる方法をもて發展し道を講ずべきか熱議する處ありたり一同信仰と勇氣と望みにみちて散會す此日大島會計欠席せられしをもて大畑姉代つて助けらる

○羅府支部

△一月五日第一日曜日午後三時より協議會事務所に於て新年第一例會を開催せしに先づ新年最初に於て各司の信仰と決心を固め本年中凡べての働きを成さんとて小室かね子司會の下に一同の讃美歌堀見會長開會の祈禱及聖書回讀同堀見會長の講話ありて仁田孃の會計の報告ありし後

小室かね子の（以弗所一ノ一以下）
堀見小笑子の（馬太十一ノ十六以下）
池内稱子の（雅各三ノ十一以下）

以上諸姉の所感あり續いて會に關する雜事相談をなして各々新年に於ける靈の賜を得讃美主の祈と共に樂しき集ひを解散せしは早や四時半頃なりき

△三月二十一日土曜日午後二時半より山本姉宅に於て母の會を開催す來會者小兒共廿一名にして堀見會長司式の下にミスハリソンには（世の母親）に就て尤も有益なる話あり終りに臨みて同孃は尚母の課會合の必要を說き尚ほ將來の發展を望まれ引き續き聖歌主の祈を以て一先づ閉會

次に當日議決せし事項は左の如し

一、本會には新に少年課を設け毎第三日曜日午後三時よりベツレム教會内に開催すると

二、當課長としてベツレヘム教會附屬日本人小學校の教授なる山本姉を其の任に推しミセス、ハリソンに同課長の補佐を依頼すると

最後に茶菓を喫し懇談の裡に散會せしは時午後五時過なりき因て記す

當日の出演者なるミセス、ガイには要務の爲出演なし能はざりしは集會者一同の遺憾とする處なり

新報代領取

一金五圓二十五錢（四十年度九人分）　神戸支部
同　八圓二十五錢（四十一年自一至三）芝　支部
同　一　圓　（四十二年四月迄）　助川愛子
同　二十圓三錢　（四十一年度）　羅府支部
同　一圓二十錢　（四十一年三月迄）　竹内さと子
同　十二圓　（貳月分）　大坂支部

廣告

タイプライターに
經驗あり御望に應ず
東京市本郷區森川町一番地
新坂三四五號
藤井かう子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣告

婦人ホーム は女中奉公や其他家庭教師、看護婦、會社員等の紹介所で大阪へ出て働きを求める婦人を引受けて親切に世話する所であります

婦人ホーム は地方から出て來た婦人を引受けて一日十錢宛の費用で宿泊させて家事の見習をさせ夫々適當な處へ世話を致します周旋料はとりません

婦人ホーム で世話を受けた婦人はホームを家の如くに出入して萬事相談對手となりまた病氣の時など相當の世話を致します又日を定めて數入もさせます

婦人ホーム へは良家より女中の申込が澤山にあります若い婦人のみならず中年の婦人に家庭の取締子供の世話などを托したいと望まるゝ家が多くあります

婦人ホーム は只世中の便益を圖り妙齢婦人を保護し其將來の幸福を思ふ唯一の慈愛の心から成立つたものであります今迄に類のない事であります中では三人の婦人が母や姉の樣に親切に世話して居ります

汽車からも船からも便利なところ
北區中之島六丁目六番地にあります

基督教大阪婦人矯風會附屬 **婦人ホーム**

大學病院長 佐藤博士題辭
女子學院長 矢島揖子題辭
醫學士 神村兼亮閲
大學病院卒業看病婦 大關和子著

豫約期限 四月十日

實地看護法

正價金七拾五錢
豫約金五拾錢
郵送料 市内四錢 地方八錢

本書の躰裁 表紙布金文字入 四六判紙數三百餘頁

本書の内容 一編 看護婦の心得。二編 一般患者に對する所置。三編 傳染病看護法

附録 東京府令七十一號看護婦取締規則 日誌の付け方並に其用語、流動食物調理法 便器取扱法

二十餘年の經驗により實地看護法這般再生紀念として數千部出版仕候來る四月十日までに前金本會に迄御申越の方に限り特價金五拾錢にて差上可申候間奮て御申込相願度候也

發行所 東京看護婦會
東京市神田區錦町三丁目一番地
電話本局千七百六十八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

丹野房子譯

ジョウコールの話

定價金二十錢　郵税四錢

本書は甚だ忠實にして機敏なる少年が富家の給仕に住み込む面白き手續き及び彼が首尾よく給仕となりて後思ひ掛けなき奇禍に罹りしも運よく危機一髪の間に其生命を恢復せし極めて興味深き讀物なり今日の如く傭人の風儀甚だ惡しく所謂奉公人根性に充ち滿ちたる者の多き時に當りて此の如き書を讀むは其愉快なること實に謂ふ可からざるものなり

リウイスワレース著
富田了山譯

ベテレヘムの廐

定價二十五錢　郵税四錢

泰西にて有名なるベンハーと題する書中に其基督降誕の時に際し三人の博士等が如何にして東方より來りしか其顛末を詳記せり本書は平易たる美文的言文一致體にて之を記述せしものなり之を讀むに興味津々として盡きず。何人も之を讀み終るまでは卷を掩ふこと能はざるべし乞ふ愛讀を賜へ。

曉天

定價二十錢　郵税四錢

此書は小兒の爲に世界萬物の創造及び基督の道を解り易く書きたる者にして日曜學校生徒等の參考に資すべき稀有の珍書なり。

童蒙基督傳

定價五錢　郵税二錢

此は表題の示すが如く小兒の爲に極めて簡短平易に書き綴りたる基督の傳にして日曜學校生徒の教科書若くは參考書として甚だ有益なるものなり。此の如き書は世に其類稀なり。是れ弊館が之を江湖に推薦せんと欲する所なり。

◎十字架の道

パチラー、オブ、テヴィンチ
ーマスター、オブ、アーツ　小畑久五郎先生說教

定價二十錢　郵税二錢

小畑先生は十餘年間米國に留學して神學文學を研鑽し歸朝後青山學院神學校に教鞭を執り且つ學院教會を牧し純正福音の傳播に鞅掌し居らるが近年我邦基督教の漸く非福音的となれるを慨し茲に昨年一月より前後八回に亙りて十字架に關する諸要點を說教　基督教の根本的眞理を闡明せられたり弊館先生に乞ひ右說教原稿を修補して一冊となし出版する事となれり願くは教界の諸彥速に一本を購求ありて贖罪、救拯、慰安、幸福の道を深く味ひ玉はん事を

○兒童の宗教

アトキンス氏著大谷虞君譯

定價四十錢　郵税六錢

シエルドン原著

○美山夫人 田中榮子 兩女史共譯七日間

定價三十五錢　郵税四錢

トランベル氏著櫻井成明君譯

日曜學校教授法

定價三十錢　郵税六錢

東京市京橋區銀座
四丁目壹番地

教文館

電話新橋二五二六番　振替貯金一一三五七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大宮季貞篇

對觀 四福音書

定價 並製六十錢 上製七十五錢
郵税各八錢

原田助先生の序文に曰く、「基督教の中心はイエス、キリストの生涯と其教訓に存す：：之を學ぶの途は新約書中福音書と題する四個の基督傳に據らざるべからず：：然るに著述が同じくキリストの傳記なるに係らず、配列の順序區々として時日の關係あるのみならず、同一の事件を記するに當りても往々相撞着せるを見る、之を相對照補充して始めて基督傳の全豹を窺ふを得べきなり、著者が強いて闕漏撞着の箇所を調和せんとするが如き姑息法を採らずして公平に誠實に研究の結果に依て、此四福音書の記事を對照配列したるの度にあり」と、好著が大宮季貞君の手を經て邦語に躰現はるゝに至りしは、聖書研究上永く感ぜられたる一大缺陷を補へるものと云ふべし云々」と敢て江湖の讀者に推薦す、

宮川經輝著

基督の處世訓

目次
第一章 序論
第二章 人生
第三章 財産
第四章 勞働
第五章 奉事
第六章 慈善
第七章 使命
第八章 應急
第九章 跋

四六判八十餘頁
定價十錢 郵税二錢
五十部以上割引す

宮川。牧野。合著

基督の聖訓

上製郵税共五十錢

宮崎湖處子著

基督教大系

定價六十錢
郵税六錢

本書は著者が**希臘文**聖書研究と天國的、**地獄的**經驗の賜なり、其の如何に**破天荒**にして而も醇粹なる**使徒的**正統的なるかを見よ、其の三位一體、父、子、聖靈の新なる關係、惡魔の**誘惑**、聖靈の**權威**、**墮獄**の恐怖の**經驗的記述**を見よ、宗教的天才として白人偉なる乎、**黄人**偉なる乎、之を讀んで之を判ぜよ。

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 **警醒社書店**（振替貯金口座五五三）

星野光多篇

基督教叢書

有馬純清著 △基督教辨證論
露無文治著 △基督教本原眞理
八濱德三郎著 △基督の比喩
今泉眞幸著 △舊約聖書文學
柏木義円著 △靈魂不滅論
星野光多著 △耶蘇の三大觀
武本喜代藏著 △現世と未來

定價各金二十錢
郵税各金四錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行